

平和集会（平和セレモニー）を行いました。

4月28日（月）

5月7日（水）から5月9日（金）修学旅行へ行く3年生のこれまでの平和学習の取組について、平和集会（平和セレモニー）を行いました。調べたことの発表、朗読劇、そして最後には全校生徒に向けて平和宣言を行いました。3日間を通して、多くを学んでほしいと願っています。 【平和セレモニープログラム】

- ① 開会の言葉 ② 校長先生の話 ③ 修学旅行の スローガン紹介
- ④ プロジェクトHのスローガン紹介 ⑤ 千羽鶴の紹介およびお礼
- ⑥ 『私たちの学んできたこと』（スライド）⑦ 朗読劇 『てっぽうをもったキジムナー』 ⑧ 「平和宣言」披露 ⑨ 歌『HEIWAの鐘』 ⑩ 閉会の言葉



～平和宣言文～

青い海、白い雲、緑豊かな自然。これが私の想像する沖縄でした。

今、私たちは何の不自由もない生活を送っています。しかし、その当たり前の暮らしは、世界に目を向けると当たり前ではありません。

今から80年前、日本でも多くの尊い命が奪われる戦争が起きました。沖縄では地上戦が行われ、住人の約4人に1人が亡くなりました。その中には私たちと同じぐらいの年齢の学生たちも含まれています。このように戦争は、人の命、夢、生きる喜びを奪う、最大の人権侵害なのです。戦後なお、沖縄には日本の米軍基地の4分の3が存在し、今も米軍による事件や事故は後を絶たず、沖縄の人たちは不安や恐怖と隣り合わせです。また、世界を見ると、毎日のように戦争のニュースが流れてきます。ロシアとウクライナの戦争は、3年たった今も終結の兆しが見えません。私たちは過去の過ちから学び、未来に向けての新たな一歩を踏み出さなければなりません。戦争を未然に防ぐためには、戦争や世界のことについて学び、信頼と共感を深めることが大切です。すべての人々が助け合い、平和の実現に向けて努力することが、世界唯一の被爆国である日本の、私たちの使命であり責任だと思います。平和な未来は私たちの手で作ることができます。私たちは、今ある平和に感謝し、これからも学び続けます。そして、先人たちの思いを引き継ぎ、次の世代に伝え、戦争という過ちを2度と繰り返さないことを誓います。



2025年5月7日

兵庫県丹波市立青垣中学校修学旅行団

○平和セレモニーの様子

